

氏名	平 田 敏 彦
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3478 号
学位授与の日付	平成12年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	ジュニア男子陸上長距離選手の身体組成・全身持久力と走記録
論文審査委員	教授 吉良 尚平 教授 井上 一 教授 原田 実根

学位論文内容の要旨

ジュニア男子長距離選手の育成を目的に高校男子選手46名の身体組成および全身持久力と走記録の関係を検討した。トップレベル選手群(I群)の全身体脂肪率(%FAT)は平均値で $6.5 \pm 1.8\%$ を示し、県大会レベル選手群(II群)に比較して低い値を示した。各部位の%FATは、両群ともに体幹、上肢、下肢の順に高値を示し、下肢の%FATはI群がII群に比べ有意に低値であった。身長・体重・除脂肪体重(LBM)・下肢のLBMは学年が高くなるにともない有意に増加したが、全身および下肢の%FATには学年差がなかった。換気性閾値(VT)、呼吸性代償点(VCP)、最大酸素摂取量($\dot{V}O_{2max}$)は、走記録と有意な負の相関が認められた。走記録を目的変数、身体組成・全身持久力を説明変数としての重回帰分析した結果VCPが有用な説明変数であった。以上の結果から成長期のジュニア男子選手の身体組成はLBMや下肢の%FATが有用な指標となり、全身持久力ではVCPが走記録予測の最も優れた指標といえる。

論文審査結果の要旨

本研究は、高校男子選手の身体組成及び全身持久力と走記録の関係を調べたものである。身体組成については走記録からトップレベル選手群と県大会レベル選手群の2群間での測定値の比較を行い、更に走記録を目的変数として身体組成と全身持久力の測定値を説明変数とした重回帰分析を行っている。その結果成長期にある高校生では、身体組成については除脂肪体重(LBM)と下肢の脂肪率(%Fat)が、持久力の点では呼吸性代償点(VCP)が、走記録予想のもっとも優れた指標であることを明らかにした。審査の結果、本研究は陸上長距離選手の発掘と育成を行う上で有用な業績であると認められた。よって本研究は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。